昭和二十五年（1950）定價一部二十五圓十ヶ月一圓
磐城毎日新聞
五月二十六日（日曜日）第4号（日刊）

福島縣平市南町（平局區内）六六
發行所 株式會社磐城毎日新聞社
編集兼發行人 倫孝藤遠
（電話架設申請中）

讀愛御
下さい

總司令部も眞意を認めた

十五萬ボルト送電建設

既成同盟幹事會開く

日和田―平間（七三粁米）の十五万ボルト送電線建設促進既成同盟會石城地區幹事會は今二十六日平市常磐炭礦火力發電所で開催、早急實現に万全を期することになつた、此の計畫は炭礦、化學肥りようその他の大量製産工場等を有する常磐地方では現在使用されてゐる六万ボルト送電では十分に之らを満す事は不可能實情でありどうしても十五万ボルト線施設が必要であり關けい當局及各地電力消費者を糾合する促進會は縣知事縣選出各代議士等の後援の下に一般地方民との協力を得て此處三年來其の實現に猛烈な運どうを展開してゐたもので此の計畫實現に就いては、總司令部側も漸く其の必要を認めるに至り大定してゐる様です

体の見通しもつき早期實現が確實視されてゐる、殘る難關は數億円を計上する資金面の事業資金を如何にねん出するかにかゝつて居る郡下産業の大宗をなす常磐炭田の企業整備されつゝある今日强力電きの誘致に依つて現下の行詰まりを打開する爲めにも本運どうは關けいを揭載致します、船員であるけい市町村の結束が要望されてゐる

改正所得税法 説明會開く

平税務署では平商工會議所の後援で昨廿五日午前九時から四時迄地方事務所第一會議室に於て郡内中小企業者百五十名の參集、改正所得税法の説明並びに中小企業者の記帳法の指導會を行つた、尚講師は平ぜい務署直ぜい課長と平商業高校教諭松崎先生でシャープ勸告に依り出來た青色申告をスムーズに行ふ爲には勿論帳簿記載の正確を期さなければならないので今後も此の程講習會を催す了定である

社説

立會演説に就て

明二十七日平市に於て參議院地方選出議員選擧の立會演説會が開かれる、自已の抱負と經倫を選擧人に報告して公正な判斷のもとに意中の人物に投票の權利を行使させる絶好の機會である此の機會に際して候補者の演説を、黨派的私情から亦好むと好まざるを問はず吾々市民は嚴肅な氣持ちで聽することを忘れてはならない、語ることは聞く、許された時間をき聞く要旨を演説せしめることである、然して後選擧人は自已の良識と判斷に訴え投票の權利を行使すればよいのである本年一月知事選擧の際共産黨平田良衛氏が驛前廣場で雨に打たれ乍ら立候補の街頭演説をしてゐた態度も良く聽取することにしたいものである、特にこの演説會には地方から多數の聽衆が泊かけて來ることだ、この地方人の熱と期待を裏切らぬよう卑近な野次や悪質な防害的行爲は斷じてないと信じてゐるが一例を擧げて明ろ選擧の一役に資したいものである

然し人格者平田氏の聲がいには接したかつたのである斯うした事實は今度の演説會にも當はめるもかあるであらうし、聽衆は短い時間であるから超黨的第三者の位置について政見の全部を聽取することにしたいものである、特にこの演説會には地方から多數の聽衆が泊かけて來ることだ、この地方人の熱と期待を裏切らぬよう卑近な野次や悪質な防害的行爲は斷じてないと信じてゐるが一例を擧げて明ろ選擧の一役に資したいものである

文もう者の代理投票

平市選擧管理委員會事務局は文もう者の代理投票に就て次に御參考のため質疑應答する爲めにも本運どうは關を掲載致します、船員であることの認定

問 令第十四條第一項の申請があつたときゐ員會はどんな資りようによつて船員であることを認定するか（山口縣）

答 船員は常に船員手帳を持つているのでその呈示を求め、それによつて認定すべきである、若しこれを持參しないときは業務主である船長の證明書又は近隣者の證言等により確認し得た場合に限り證明書を交付すべきである

問 令第四十一條に云う「その事由がないと認めるとき」とは文もうにより代理投票をなさんとする者については客觀的判斷によつてのみ認定すべきものか（宮城縣）

答 お見込みの通り

問 文もう者の代理投票について唯單に本人の宣言によつて投票をせしめるより致し方ないか（青森縣）

答 お見込の通り

問 入院患者で歩行困難となつた者は不在投票證明書がなくとも特別投票管理者の承認のみで現在する場所で投票を記載して宜しいか（靜岡縣）

答 お見込の通り

棄權しないで 良き人を選ぶ爲め

歩行困難の者の投票と證明

農村自家用茶 移出むき裁ばい計畫

各農村では田植や麥の取り入れを控えてぐんとのびる茶摘が始つた、石城や双葉地方ではき候の關係で茶畑と云うの栽培はしてゐないほんの自家用に當てるだけだから畑のふちに數える程の樹株である、それでもの うかの自給自足は滿されるので各のう家では畑の中に茶の芽を摘んでゐる、傳統的な自家製造ではあるが香りは高く進められる一杯の新茶にも味はつさないし家庭經濟にも出費ははぶくし副業とし捨て難い行事にかぞえられてゐる、此の頃では野菜や蕃類が統制は徹廢されるし値段は底知れず落ちてゆくので國内消費は勿論のことやがては移出向きにまで進出してはどうかと

北配電の定期總會

二十九日仙台電第十六回定期株主組合が行われる議事、二十四年度の配當其の他檢討

開襟シャツ 警官も衣替

平自治、地區兩署でも二十五日付きでワイシャツとネクタイを廢して刦夏の訪れと共に開襟シャツのゆるやかな姿に衣替えをして市民にまみえる

一部のう村では計畫を進めでゐる者も出て來てゐるようだ

虱蚊の驅除

平衛生課活動

市衛生課ではのう繁期を控へて不潔になり易い爲め市内のう村小學校生徒のシラミ驅除の目的でDDTの散布を行ふことになつた去に寫つたのは花が咲きみだ

茶の湯・ダンス

あたしかよ 等此頃

寫描姫糸の實現

市内月見町片倉製糸株式會社平工場は輸出のホープとして時代の脚光を浴び再びちやクローズアップされて來た現在二百五十名の從業員で不況の波に叩かれてゐるとしかも企業の整理なぞと云う不安もなく操業に馬力をかけてゐる、現在月産九百六十貫の産に全員生活氣ある作業を續けてゐる

何と云つてもこの工場は若き糸姫の可弱き手と目によつて操業されるもので、これ等女性の多數を預る勞務課長の鈴木さんも厚生施設には細心の注意を拂つてゐる、親となり友となり、ろう資協調に對しても會社側の立場となり、從業員の立場となつて、すかしたりなだめたり親身のろうをいとはず力となつてゐるが、齡の相違か何とも施す術のないものに戀愛問題だけは未設の万全を期するため解決で愛を否定もせずに取れている所をあげはちようが樂しそうにとびまわつている所だつた

僕はふだん蝶など見ないがあのようにはつきりと畫面に寫し出されると、とてもきれいで興味深く感じられた、蝶は口がないので長いくだのようなものでみつを吸う、いちいちみつを吸うのは容易でないと思つた、僕達はお母さんに小さい時は食べさせて頂いたが蝶は映畫が終ると次自分でみつを探して吸うのだと思つた、蝶は葉も食べないで木の上を飛んで行つた

ふだん僕達は平氣で「あげはちよう」をみている、何の變りもない世界のようだが僕たちの見えない所では「あげはちよう」をおそう虫などもおりいろいろ苦勞していることが映畫を見てよく分つた、こんど僕は實際に「あげはちよう」の觀察をして苦勞をしている所又生れかわる所などをよく見ようと思う、それにはあきないで最後までやる研究心とねばり强さがぜひ必要だと僕は歸る途中思い續けてゐた

繊方教室

あげはちようを見て

平三小 六ノ二 檜山謙一

今日映畫教室の爲め僕達は文化劇場へ行つた、入口を入る時胸をわくわくさせて入つた「消えた仔牛」というは食べさせて頂いたが蝶は映畫が終ると次自分でみつを探して吸うのだと思つた、蝶は葉も食べないで木の上を飛んで行つた

支那の形容詞を用いれば白髮三千丈とも云いたい此の立派の白髪の所有者は先づ平地方では隨一の珍しき活動ファンの大立物世界館の主人公鈴木寅次郎氏である、この髪が物語る處にさ骨あり、任侠あり溫情味に富んで市政將來の卓然たる理想を談ずる處など當年とつて七十三才の老翁とは眞實思はれないのである、最も白髪を初夏の此頃の自東車の上から肩のあたりになびかせての活動振りは壯者をしのぐの概や滿点である平市の隣り村草野の農家に生れ現在の平第一小學校跡にあつた明治二十四年頃の磐城高校に學び英語や横文字を修めたと聞くからには當時としてはハイカラの青年でもあつたらう、從つて今の言葉のインテリーは月給取りを希望して鐵道乘務員となり判任官最高給の十七円を貰ふ身分は平郡線開通當時の川前驛助役に拔てきされたのである、普通人ならば此の榮進に鐵道の神様とばかりに隨喜の涙を流して後生大事に勤務するのが本筋だが青年當時よりの變種の所有者たる氏は直ちに辞令表を返上して自由ろう働者に早變りした、其の轉身振りには友人知已を驚かしたことも又當然ではあるまいか

大正五六年頃料理屋を初めて大きなろ邊の横座に旦那に納まつていたこと十八年、世は擧げて不景き、借金は遠慮なく出來って當時で三万両これが爲めに某銀行からは破産の宣告をされて文なしの浪人生活をつゞける中に考い出したのは案外手輕く面白く金が這入る活動館の經營に乘出して世界館の主と納つたか大金を握ぎるわけにも行かづして苦ろうの連續に其日を送つてゐた折柄、戰爭のアヲリを喰つて强制的の立拔き戰爭には一人息子をなくして孫子三人遺され人生悲哀のドン底に追込まれたのであつた、此處に發奮して一面孫子の將來と一つは最後の御奉公にと才槌小路の豪華の宅を手放して再び世界館の經營を志し四五十万円で計畫したものが百五六十万円建設費を要したのにも悲常な苦心談もある、人生六十年をなし奉公して來たと語る氏の今は金もできたしスキナ道樂に何でもござれのお身分、酔生夢死の徒輩や愚直無能の鈍物はまねも出來ない程の氏の生涯、先づ來年などは市會議員に打つて出ることでもあらうし草野鄕友會長などに推されたことなど此の間の消息を物語るものではあるまいか

世界館主 鈴木寅次郎氏

人生放日記（4）

壽デパート 栗原欽次郎氏

平驛前にサツ爽として現はれた壽デパ！トは栗原鐵次郎氏の經營である、兎角平市の昨今はデパ！ト大流行でお客も又千客万來を極めて居るからデパ―ト風景には不景きの風が吹き寄せないの觀なきが如しである

店舗を所謂間貫して日掛けて間代を取上げる處などは貸すこともなければ支拂わぬ譯けにはゆかぬ仕組みで此の經營などには栗原さんはハマリ役でもあらう此れは氏の頭が頗る計數的に出來上つてゐるからでもあり、細心の注意は常に怠らぬ氏の事でもある

戰爭前の何十年前かを電き事業滿面に微笑して毎日を送らをして常に二割前後の配當を續けてゐた其の手腕は誰にも認めて居つたのである處で氏の又奪闘には敬服され今時の青年達の思いも及ばぬ程の努力家である、氏はよく語る、何事でも是非こゝは一番と本きの沙汰で熱を以て當ることで人間相應に決して贅澤な願いさいしなければびた一文なくても事業は遂行されるもので愁歎面はしなくてもよいのである……これが男の端くれに生れて來た人間としての仕事の仕上げである、貧と戰つて連敗もせずに虚飾虚名を拋つて老いて益々活動をつゞけて事の仕上げである、貧と戰つて連敗もせずに虚飾虚名を拋つて老いて益々活動をつゞけて前かを電き事業滿面に微笑して毎日を送らをして常に二割前後の配當を續けてゐた氏も又幸福者の一人で

後のあなたは

製糸工場からは昔の女工の歌の筋書は片りんすらも見出すことが出來ない

前の話

先日平驛前に裸形の日本映畫の宣傳廣告が出て物議を醸した、

そのほとぼりもさめぬ内またまた半裸体の男女が抱擁し合つてゐるある外國映畫の看板が出た

例え製作がニッポン映畫であらうと、外國映畫であらうと内容、背景で人間の感覺をまひさせ極度に好奇心を刺戟する様な場面を殊更に表現する看板を平市の玄關口で、最も人通りの多く良い映畫ならば此れ程までに露骨に宣傳廣告を出さなくともよいものである、健全な常識と眞面目な企畫の下に廣告宣傳に乘出されたいとは通りがかりの人が語つてゐた

印刷組合 役員協議

磐城印刷工業協同組合にては來る二十八日午後一時より平市丸友ホールに役員會を開催して創立第一回の決算協議と業者間に於ける今後の運營などを打合せる

縣外出稼もならぬ青森

就業者は除雪作業

初夏の平に後藤技師談

青森縣土木部技師後藤政雄同主事藤田興三郎同葛西隆一の三氏は失業對策事業と其の實況視察の爲め昨朝來平土木監督所上村所長を訪れ管内狀況に就て懇談の後施設工事現場を視察の上退町した後藤土木技師は今回來平に就て

平地方の土木事ぎようを視察することが出來て大變參考になりました、地の利と云うか豐富な豫算で年間を通じて土木事業を繼續出來ることは失業救濟の面にも事業しん捗の上からも惠れたものがある初夏の候と云うのに青森では花見が濟んだばかりであるが失業對策の爲山間の道路にまだ雪か殘つてゐる雪の排除に失業勞務者を出動させてゐる何處も同じ現下の狀勢では失業者の數も益々增加しつつあり、之が吸收策に資する爲め視察した譯である、御承知の通り青森は北海道を始め縣外出稼ぎ勞務者の有名なところであるが、全國的な失業者の激增がふさぎ門となつてゐるので縣としても對策にはしん重を期してゐる

就勞改善要求

自由勞働組代表八名

縣職安樋口課長に

二十五日午後四時三十分實情調査の爲來平した樋口縣職ぎようあん定課長に平自由勞どう者組合長等代表八名が會見し三日に一日休むやうな現在失ぎよ者救濟事ぎようの就勞狀態を改善のため（一）整理反對（二）早急なるワクの擴大を要求した

これに對し樋口しよくあん課長は一・四半期は予色々の條件のため現狀を改善する事は出來ない二・四半期（七・八・九月）は予算を增し公共事ぎようを各所で實施する樣努力する旨を答へ五時二十分交渉を終った

管内の救濟事業

勿來錦の對策急ぐ

二十五日現在平公共しよく業あん定所内で失業救濟事業に就勞してゐる日雇勞務登錄濟みのもの二千二百五十二名で其内縣營一千一百名、市町村營三百七十名が就勞されてゐる、其の町村別就ろう狀況は左の通りで平市二五〇名、縣營一五〇名、市營一〇〇名、内郷町五五〇名、縣營四〇〇名、町營一五〇、湯本町二〇〇名（縣營一五〇、町營五〇名）好間村二〇〇名（縣營五〇名）赤井村一〇〇名（縣營二〇〇名）錦町一〇〇名（縣營一〇〇名）勿來町七〇名（縣營五〇名、町營二〇）で二十五日迄にしよくあんに登錄している者は平市三四四、内郷町八一八名、湯本町二五九名、好間村二五一名、赤井村二二六名、錦、勿來町三五四名でアブレた者の數は平市七五名、内郷町一〇二名、湯本町二名、好間村四二名、赤井村六二名、勿來錦七七名となつて居り就勞狀況は湯本町が僅か二名で縣下一スムースにいつて居り内郷町も超過就ろを一五〇名で最も就ろう狀況が惡いのは七七名の勿來錦町である

常磐合同炭礦で

一日事故二件出す

茨城縣磯原町常磐合同炭礦平市東南倶樂部主催の第六回親善軟式野球大會は延期になつてゐたが昨日より二日間市營球場、第二小學校第三小學校の三球場に開催する、優勝チームにはカップ並にホームラン賞を送る

参加チームは次の通り

白銀青年會、豐間產業、仲町青年會、北友クラブ、新石城郡稅務協會では明廿七日午前九時より平市公會堂區、研町青年會、イワキ通日本間に於て本年度總會を開き左の事項を協議する

一、各市町村に於ける徵收濟縣稅は至急縣金庫に拂込む事

一、飲食店の無屆開業並びに映畫演劇等の無申告開催者の增加に鑑み斯る事態を未然に防止する爲の市町村の適切なる措置をとること

一、事業所得並びに特別所得の申告については甚だ低調である爲極力督勵すること

一、年の中途に於て廢業者に對して廢業のとき迄日割計算により課稅する期定であるが此の種廢業者か多數あるのでこれに對して課稅した場合の擔ぜい力の有無の實情調査を急いで居るが昭和二十四年十二月三十一日迄の事業年度終了した分に對しては市町村の附加ぜいがふ課出來る一ぜい務相談員の設置

盛澤山な稅務

協議市公會堂で

東南倶樂部

野球明日

預つた自轉車盜難

二十四日午後五時半から六時半頃までの間に平市白銀町六番地石炭販賣業矢島精雄（四女）さんの軒下に置いた自轉車一台紛失、最近瀕發する自轉車ドロの仕業にらみ加しつつあり、之が吸收策に資する爲め視察した譯である、御承知の通り青森は北海道を始め縣外出稼ぎ勞務者の有名なところであるが、全國的な失業者の激增がふさぎ門となつてゐるので縣としても對策にはしん重を期してゐる

熊野神社の御輿市内渡御

二十四日

（舊四月八日）市内神谷大字鹽野熊野神社例祭の御こし二組は午後六時頃から市内をねり歩き各所に賑やかなお祭氣分を卷き起こしたが中でも其のうちの一組中學校の重傷を負つた

生徒の擔いた御こしの渡御は活氣があり祭典き分を市民に呼起させてゐたし勞働團体の問題で市民も緊張してゐる折柄なのでなごやかさを添えてゐた

平市有權者數

選管委員會調査

平市選委管理委員會では去廿四日現在で參議院議員の選擧有權數が左の通り確定したその總計二万二千四百五十名で其の内譯は市内男八二四六名女九五二六名計一七七七二名飯野男一〇五二名女一一一三名計二一六五名神谷男一〇四七名女一四六六名計二五一三名

網棚の衣類

昏睡中置引

二十五日下り二一一列しやが常磐線泉いき附近をしん行中石城郡豐間町原町小松モト（五〇）さんが昏睡中網棚の上風ろ敷包一箇が何者かのために窃取されてゐるのを發見、平鐵道公あん室に屆け出た

魚菜相場

二十四日現在

（單位一貫目）

二十五日總集荷三千貫

サバ　七五円

カナガシラ　一七〇円

（既報）市内紺屋町鈴木果實店に突入して店舗の大部を破壞した澤渡村三瓶木材店のトラックと破壞された現場は即時に本社カメラ班が出動して撮影したもの

【青果市場】

ブリ	二〇〇円
ヒラメ	二五〇圓

二十五日現在

總集荷　四千貫

（單位貫）

キャベツ	二〇—一二円
大根（小丸）	五〇—三〇圓
葉王ねぎ	三〇—二五円
たけのこ	一〇〇—七〇円
さやえんどう	一四〇—八〇円
かぶ（一把五百匁）	七圓
きうり（一本）	八—四円
ばれいしよ	六〇—三八円
新ばれいしよ	六〇—二〇円
ふき	六〇—二〇円
人參	五〇—一二〇円
ごぼう	一二〇—八〇円
へら菜一バ	二五—一五円

逮捕された代番申込む

二十五日午前十一時四十分頃綠川自由勞働者組合執行委員外二名は平しよく安を訪ね平山業務課長に面會所由勞働組合長野崎博内郷自由勞働組合員加藤キヨノの家族の生活苦を訴えせい活保護法が適用されるまでの間二名の代番を就勞させてくれと賴んだが平山課長はこれは今後の恒例となるからよく交渉してから出直して欲しいと十二時半回答した尙代表三名は、來平中の樋口縣しよくあん課長と三十分團体交渉を行ふ事を約して歸つた

官衙職員錄（其の三）

平稅務署

長　小貫數馬

◎總務課

課長　五十嵐甚三

徵收係長　金田雄一

徵收第一係長　小松多利三郎

第二係長　石川正喜

星邦吉

五十嵐實

高橋豊

松村孝

三森正三

久田岩雄

小野陽一郎

草野正作

古川治

後藤澄

交換手

青山甫

佐々木辰子

立石泰博

大竹榮

渡邊英夫

西名清

佐久間學

大和田善安

河田浩

綠川定義

猪瓜幸子

横田善宗

阿部千代吉

木村エイ子

柳井加津子

山野邊邦弘

圓谷忠子

布田光子

齋藤明子

タイピスト

◎直稅課

長　曾根一元

法人稅課長　熊谷貫三

總括係長　日野千三

所得稅係長　太田章

資產稅係長　齋藤兵橘

源泉資料係長　新妻孝一

八幡善平

對比地義衛

高橋勝男

◎間稅課

課長　湯田正雄

緒形鐵夫

吉田義男

大黑繁男

津野佳夫

篠崎芳正

河邊豪夫

輪島喜一郎

林章

小林邦進

高木豊

新野正夫

北郷幹雄

杉原美智子

鈴木英二

戸田祐正

佐藤清秀

木田芳男

大井川準之助

齋藤昭一

吉村禎治

草野純造

猪狩都志郎

木田久

阿部淺香

長谷川幸永

佐野雄志

荒川浩平

吉田三郎

大橋重幸

猪狩敬芳

猪瀨光吉

三浦昇

和泉健治

猪狩昌良

江尻七郎

中野一巳

水野俊一

我妻榮

熊谷直技

嘉齋ヒナ子

◎稅務課

課長　酒井稅係長

消費稅係長

木炭横流し發覺

小川郷丸通を急しゅう

平地區署では二十四日午後四時頃石城郡赤井村丸通小川郷營業所を急襲し同倉庫がかり國井五郎（四五）赤井驛貨物がかり吉田隆平（四〇）同草野茂（三七）を臨時物資需給調整法違反容疑で逮捕證據書類多數を押收して引上げた前記三名は共謀職場の地位を利用して昨年四月から十二月の間に石城郡永戸村大字永井方面の木炭生產者十數名から相當量の木炭を買入無切符で東京方面へどんどん横流していたもので不當利益八十万圓に達することをかねてから平地區署では探知内偵を進められていたもの

一千万圓映畫館

新たに建設さる

平市田町ぜい務しよ跡に二十四日其の筋より映畫館の許可あり二百四十坪に對し二百五坪の建築をなすべく地主堀江氏發起人代表となつて一般公募の一千万円株式組織とすべく既に七百万円位の株式申込あり今後一ケ月位にて起工する模樣である

全日本綜合選手權磐城地區バレーボール予選は來る二十八日午前八時半より磐女高コートに開催する、参加チームは次の通り

△男女一般

平FT、日本水素、常磐、古川、吳羽、四倉セメント平工OB

△女子一般

日本水素、吳羽化學

△男子高校

磐高、平商、平工、磐農

△女子高校

磐女、平商、湯本女高、小名濱女高、植田女高

（キャンデー屋も）

職安前で商賣繁昌

職を求める人、失業保險たして商賣になるのか、また金を受ける人達が詰めかけさか見物に來たわけぢやある平職業安定所の前には毎日十時ともなると必ず旗をひるがえしてアイスキャンデー屋さんが寄り集る、は一日平均百本前後の賣上げがあり二、三十本は一寸の間に賣れるとの事。大となり十八日平市字田町五田口行男（長男）雄司さん△十七日平市字柳町一赤坂重雄さん（長男）利男さん△十五日平市舊城跡松本茂夫さん（二女）えり子さん△十六日平市字月見町一七白土鋭衛さん（長男）勝基さん

死亡

廿三日平市字鍛冶町三一川勾均子さん

婚姻

（二十四日屆出）

廿三日平市字柳町赤坂重雄さんと東京都品川區東戸越二船橋フミさん

出生

寶石錄

基の声

「平事件」で一躍

天下にその存在を認識させたおらが平市。こんどは「職よこせ事件」でてんやわんやの騒ぎ地名は「平」でも人心「平」ならざるはこれ如何に。複雜なる思想、極度に尖鋭化された神經、果敢な斗爭意慾の持主が集まり、暴力行爲や騒擾を敢てせざるを得ないような環境の然らしむる處か、あゝ我不可解「無理を通せば道理引込む」式では眞の民主社會は望めない。地名にあやかつて「平」な明るい豊かな平市の實現を切望する

× ×

尼子橋

「みちのくの尼子の橋や稻の上」とば蕉の句で知られ長い間人々から「長橋」と呼ばれ平の名物の一として親しまれて來た尼子橋は永歷年間領主岩城則道の室德尼が領民の洪水禍を憐みかけられたと傳えられているが隣の内郷町と結ぶ交通の要所であり、往來頻繁橋幅がせまいのと老朽に達した爲め、近代的なコンクリート橋のか設工事が新川改修工事と共に着々進められている、これが竣工の曉には商工業都市平の動脈として益々重要性を加えることになろう。いつまでもいつまでもば蕉の句と德尼の美擧を想起させて……

ねつと せきには
味美 改源（カイゲン）
お茶でのむと 頗るよくさく
光・愛・敬
報恩經濟
株式會社 中西武商店
（本店）大阪市（東區内）東區道修町三丁目九番地 電話北濱（23）三六〇番 振替大阪一五二五番
（支店）東京都（日本橋區内）日本橋本町二ノ九 電話日本橋（24）五〇八番 振替東京一二八四番 中央區日本橋第一銀行本店
當座 帝國銀行本店 三和銀行室町支店 第一銀行本店 三和銀行高麗橋支店